

京情協 第4回地域情報化委員会議事録

開催日時：平成16年11月16日16:00～18:00

開催場所：京都コンピューター学院 会議室

1. 前回議事録確認

2. 新規WG「U-JAPAN WG」(仮称)の提案・・・馬場委員より

2010年のICTによる安心・安全社会 「U-JAPAN」(添付資料有り)

「電子自治体進展度調査」(添付資料有り)

・ 庁内情報化・行政サービス・情報セキュリティー

結論：「U-JAPAN WG」は地域情報化委員会そのものであるとも考えられるのでWGとしてではなくて京情協 地域情報化委員会の指針とするべきか、研究方法、新しいテーマの発掘など今後継続して協議する。

3. WG活動。

ア) 京都府デジタル疏水(地上波デジタルT-ナビ)

・ 11/15 第1検討部会：馬場委員出席

電気通信業者ヒヤリング実施状況(経過報告)

高速インターネットサービス環境の整備方策

最終報告書(案)の概要について

・ 第2検討部会：古川委員出席

イ) 10/29 情報通信環境整備に関するセミナー古川委員出席

・ 地上デジタル放送の推進

～地上デジタル放送を活用した公共サービスの可能性～

・ 地上デジタル放送を活用した地域情報の提供

～愛知県瀬戸市の取り組み～

・ 地域情報化の果たす役割

～ブロードバンドが住民にもたらすもの

ウ) 消防防災：担当古川委員

・ 消防業務での共同利用検討(アンケート調査に向けて)

・ 京都府消防長会消防業務広域連携検討部会アンケート(案)

4. 情報提供

・ 地域医療ネットワークのいま(添付資料有り)

・ APRICOT2005KYOTO が2005-2/18～25まで開催(一般2/20)

- 5..その他
- ・医療情報：京都医療センター（北岡有喜先生・旧国立京都病院）
医療情報の収集のため、NPO法人（SCCJ）「どこカル・ネット」
へ参画、事業推進委員会として 承認 12月より入会予定
 - ・ 11/9 自治体ドットコム事務局長面談結果
自治体発注方式の件
 - ・福岡・長崎県方式：県としてシステム調達標準を定めたことは評価。
 - ・京都における調達標準に影響力を駆使できる社団法人は意味がある。
社団法人京都府情報産業協会は行政情報化と地域情報化の何れに力点を置くのか？
地域情報化委員会にて調達標準（高知県等）の研究・検討。
- 担当：KKC 小林委員
- その他事業テーマにアドバイスを頂いた。
- ・行政外郭団体を対象に施行条例改定に伴い施設管理のアウトソーシング。
 - ・安心・安全や介護の適正化基準 「QRコードの活用」
 - ・国（総務省）への働きかけ（補助金・根回し）についてクロスカルチャー加藤社長の活用は可能。

（文責馬場）